

平成27年度 小学校教育実習報告

小学校教育実習担当 初等教育科 尾濱 邦子・吉村 壮明

平成27年度の小学校教育実習は、別府市内の小学校での実習であった。別府市内の小学校の内諾については、別府市教育委員会の承認のもと、各小学校に内諾をとり、別府市教育委員会に実習内諾小学校の承認の上で、教育実習校が決定する。小学校教育実習は2年次前期までに教育実習の目的や意義について講義し、より具体的に教育実習の現場での期待や学びについて指導を行った。授業の在り方や板書について、実習日誌の記入の仕方や指導案の書き方等と合わせて、子ども理解や支援の仕方といった教育の基礎を指導し、実習の目的や意義についても講義し、より具体的な指導に結びつくよう指導を行った。

*

1. 学生数 ○初等教育科 23名
2. 実習先 ○別府市内小学校 13校
(別府中央小・境川小・南立石小・南小・石垣小・亀川小・上人小・朝日小・青山小・鶴見小・春木川小・緑丘小・大平山小)
○明星小学校
3. 実習期間 ○教育実習：平成27年10月5日～23日
4. 教育実習の意義・目的
教育実習では、教師として求められる人間性や教科指導、生徒指導等について、これまでに大学で学んできたことを、小学校の教育現場で経験豊かな先生方の指導もと児童へ直接、指導することを通して、実践的な指導力を身に付けるものである。
5. 教育実習校の様子
○各校とも将来の教師として期待を込めて、後輩としての実習生を3週間指導してくださった。
○小学校実習担当者が、各実習校を巡回し、学校長に実習生の状況を聴いたり、本人に状況を尋ねたりした。
○学生は、児童とのかかわりを通して誠実に、教職員の指導を受けていた。
6. 教育実習を担当して
○学生にとって大変貴重な体験である。特に、指導案作成や研究授業の取り組み、生徒指導等を通して、教師という仕事の魅力を再発見し、小学校教諭になりたい思いが強くなった学生の報告を受けた。